

備中高松城下町かわら版

http://www.takano.okayama-c.ed.jp/

旧岡山県農学校 現高松農業高校地域向け情報誌

第 39 号

平成 19 年 11 月 21 日

発行元
岡山県立
高松農業高校
tel
086-287-3711
fax
086-287-3713



天候にも恵まれ、保護者や地域の方、そして中学生などが多く訪れ、平成十九年度の高農祭が盛大に行われました

【朝礼台】

文化祭を振り返って

渡邊 治

十一月十日(土)・十一日(日)に開催された「高農祭」には、多くの方々にご来場頂きましてありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

今年のテーマは、「たかのう式」高農スタイル。でしたが、これは高農にしかない取組みや雰囲気をもとに紹介したいという願いからこのテーマを設定しました。どの学校にも、学習内容はもちろんのこと、「学校の歴史や伝統」、「教師や生徒」、「保護者や地域の人々」によって育まれる学校独自の雰囲気や校風など、学校特有の文化があります。今回の高農祭では、それぞれの学科の特色を出した研究活動の展示、かかし展示、楊枝を使って各科の特色を表した全校製作、あるクラスでは、自分たちが育てている鶏をテーマに「命」について考える映画を作成するなど、高農ならではの取り組みを多数紹介することができました。学科やクラスなど、それぞれの分担に従って協力して作り上げた高農祭だったと思いますが、全員が一致協力したこと、思い出に残る高農祭となったと思います。最後になりましたが、餅つきの実演やサイクル制服の配布などで、この高農祭を盛り上げていただきましたPTAの皆様、に感謝申し上げます。

県知事賞受賞

日本学生科学賞岡山県審査

中高生の科学研究の成果を競う「第五十一回日本学生科学賞」が十三日に行われ、応募作品五十三点の中から最優秀の知事賞に畜産科学科三年生のグループの「畜産公害への挑戦」が選ばれた。「畜産公害への挑戦」は畜産とは切り離せない「おい」と「ハエ」の問題に対して、安くて手軽な解決策はないかと考えた九人のグループの研究である。糞尿のにおいそのものを減らすこと、発生したにおいを減らすこと、そして粘着シートで効率よくハエを取ることを三点をテーマに研究をした。

審査員の評価は、畜産公害の除去を目的に有意義なデータが得られ、比較的低価格で環境への安全性も高く、実用化が期待できる。そして、実験は丁寧で、文章、実験方法、図表のいずれも適切で高く評価できるとお褒めの言葉をいただいた。



こんな電話がありました

倉敷市在住の七十二歳の男性と奥さんから、次のような電話がありました。
「四日間の旅行帰りで疲れていましたが、満員電車に乗り立っていたところ、発車してまもなく、前の席に座っていた高農生二人が「どうぞおかけ下さい」と言って席をゆすつてくれました。今、若い人の中には、余分に席を取ったり、大きな声で話をしたりするマナーの悪い人が多いとよく言われますが、こんなにすばらしい生徒さんがおられるのですね」と、感謝の電話がありました。

平成十九年度 高農祭

各科の全校制作

今年の全校制作は、モザイク画に取り組みました。各科、それぞれの関係のあるものを取り上げ、つまようじを8色に塗り分け、一本ずつ台にさしこみ作り上げました。普段の生徒の活動まで見えるでしょうか。



A科:『トラクター』



H科:『芝人形』



Z科:『どうぶつ』



E科:『トランシット』



B F科:『カステラ』

たかのう式 ~高農スタイル~

